

平成 26 年 7 月 22 日

民主党 代表
海江田万里 様

民主党女性議員ネットワーク会議
一同

「民主党女性議員ネットワーク会議」は 2003 年に「男女共同参画の実現をめざし、女性議員ゼロをなくそう！女性議員をさらに一人プラスしていこう！」「女性議員一人ひとりが福祉や教育、子育てなどのテーマをもって行動し、分権時代にふさわしい地域行動を巻き起こしていこう！」と呼びかけ設立されて 11 年、これまで毎年総会・研修会を開催し積極的な取り組みと活動を行い、それぞれが所属する地方議会において成果を挙げてきました。

来年春の統一自治体議員選挙に向けて女性候補の擁立を促し、女性議員のプラスワンをめざすために、そして民主党が真の男女共同参画社会の実現とそれによって誰もが大切にされる社会作りをめざす政党として再生するために以下要請いたします。

- 1 「女性候補擁立・支援と必要な環境整備に関する提言」を実行すること。
特に、「次期統一選の都道府県女性候補者支援基金の設立」「市町村議員への支援」、「新人候補者に対し、ブロックごとに選挙対策等の研修の場を設置する」等必要な支援を行うこと。
- 2 民主党女性議員ネットワーク会議 2014 年～2015 年の重点施策及び行動計画の活動を展開するために最大限の支援を行うこと。
- 3 民主党は、現行憲法の基本理念を具現化し、真の立憲主義を確立すべく、国民の皆様とともに「憲法対話」を進め、補う点、改める点への論議を深め、「国民主権」・「基本的人権」・「平和主義」を守り、未来志向の憲法を構想する論議を進めている。
さらに議論を深め、集団的自衛権の行使を撤回し、平和憲法第 9 条を生かした、平和的外交を実現すること。
- 4 福島原発の事故の教訓を忘れることなく、子どもや孫、そして未来の地球に安全でクリーンな環境を引き継ぐことを決意し、2030 年代原発ゼロを実現するため、再生可能エネルギーの促進に最大限の努力をすること。